

小牧市学校教育ICT推進計画の取組状況について

①令和8年度パイオニア校での実践検証内容

1. 1人1台タブレットの活用検証

協働的な学びにつながる児童生徒間・児童生徒—教員間のやりとりの場面で、1人1台タブレットを積極的に活用した授業実践を行い、適宜振り返り及び改善を行ってください。

個別最適な学びを進め、探究的な学びを支える道具として、こどもたち自身がタブレットを自律的に活用するとともに、積極的に持ち帰り、家庭学習や学校での学びとの往来に生かせるよう指導を行ってください。

2. テーマ別研究実践

喫緊の教育課題への対応、今後の教育DXを見据えて、以下のテーマについて研究実践を行い、実践結果をとりまとめてください。

●小牧南小：遠隔教育

（遠隔合同授業、遠隔交流学習・行事、遠隔校外学習・出前授業、授業配信、公開授業など）

●篠岡中：1人1台端末による探究的で深い学び

（iPadの活用、Apple純正アプリ活用、Microsoft365との互換対応、自由進度学習での活用など）

3. 先進事例等の調査・研究

1・2の検証に関連する内容、学習者用デジタル教科書・AIドリルの活用、教育ビッグデータの活用、教育ダッシュボードの構築など、授業改善及び今後のICT環境整備等につなげていくため、全国の先進事例を調査・研究し、情報共有を行ってください。

4. アドバイザー訪問（任意）

1・2・3の検証を踏まえ、1人1台タブレットをはじめとする各種ICT機器を活用した授業について、ICT教育分野に精通した有識者の視察を受け入れ、学校及び市内の取組に対する助言等をいただき、授業等の改善に努めてください。



②令和8年度その他の取組事項(抜粋)

(1)学校教育ICT推進計画の見直し

- ・第2次小牧市学校教育推進計画は、令和9年3月末までの計画期間となっています。これを踏まえ、令和9年4月からの第3次小牧市学校教育ICT推進計画について、コンピュータ整備検討委員会を中心に検討を進めていきます。
- ※本日議案としてあり

(2)学習者用デジタル教科書

- ・令和8年度「学習者用デジタル教科書の効果・影響等に関する実証研究事業」により、光ヶ丘中学校の1～3年生において音楽科のデジタル教科書を活用します。

(3)校務支援システムのクラウド化

- ・令和9年8月末に「校務支援システム用電子計算機等借上」および「ネットワーク分離システム機器借上」のリース期間が満了することに伴い、教育委員会(センターサーバ)および市内全小中学校のサーバを廃止し、クラウド化を見据えた予算要求を行います。なお、校務支援システムについては、愛知県がクラウド方式で進める「域内次世代型校務支援システムの共同調達」に参加することとし、愛知県が導入を予定している令和10年4月以降の時期を踏まえ、小牧市における導入時期を検討します。